

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている 1. 私たちは高齢者の生活を支えます 2. 私たちは高齢者の健康生活を支援します 3. 私たちは高齢者の笑顔ある生活を支えます 4. 私たちは高齢者を尊重します 5. 私たちは自己の幸福を追求します	○	左記の5つの理念で高齢者の生活を支えています
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる 管理者と職員は理念を共有し高齢者のケアに活かしている	○	理念の実践に向けて日々努力している
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる 家族会の中で理念を説明し協力を求めている	○	今後地域の人にも理解してもらえよう協力をお願いしている
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている 隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、近所の幼稚園にも声をかけ交流を図るよう工夫している	○	散歩時などに隣近所の人達に気軽に声をかけ合っている
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている ボランティアで歌と踊りを家族の人達にきてもらった。又、ハーモニカの演奏に来てもらった。ある程度は付き合いが出来ている。	○	積極的に地域活動に参加したいと思っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域貢献までは出来ていない	○	今後、高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い取り組んでいきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は理解できているが活用までは至っていない	○	評価を活かし具体的な改善に取り組んでいきたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を行っている。そこでの意見をサービス向上に活かしている	○	運営推進会議の内容を積極的に活用したい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連携は十分出来ている	○	不明な点、疑問な点は市町村担当者に聞き、ケアに活かしている
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度の理解に乏しい。成年後見制度については研修に参加したり、学ぶ機会も多く、活用できるよう支援いただいている。	○	権利擁護についてもっと勉強し、活用したい
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全員で虐待防止に努めている	○	虐待防止の徹底を図っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約書、重要事項説明書等、十分説明し、納得を得ている	○	入居契約書、重要事項説明書、その他必要書面には同意を得て印をもらっている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見、不満、苦情を表現できるよう意見箱を入りに設置している	○	個人、家族にも気軽に話しかけ、コミュニケーションが図れるよう気配りをしている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所での利用者の暮らしぶりや、健康状態、金銭管理等については、個々にあわせて報告している。電話、書面による。	○	今後はたんぽぽ通信等定期的に発行していきたい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等からの意見、不満は積極的に運営に反映させている	○	家族等からの意見や不満は積極的に取り入れている。前向きに改善している。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回全体会議を開き、職員の意見や提案を聞く機会を設けている	○	職員の意見や提案は運営者、管理者は素直に受け止めている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	柔軟な対応が出来るよう勤務調整を行っている	○	必要な時間帯に職員を確保出来るよう勤務の調整をしている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は管理者や職員による支援が受けられるよう、異動や離職を必要最小限に抑えるよう努力している	○	利用者のダメージを防ぐ配慮をしている

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は管理者や職員を段階に応じて育成する為の計画を立て、法人内外の研修を受ける機会を確保している	○	積極的に取り組んでいる
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワークづくりや情報の交換をしている	○	今後、相互訪問等の活動を通じてサービスの質を向上させたい
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のストレス軽減に向けて努力している	○	運営者は管理者や職員の話をよく聞き、助言をしている
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者や職員が向上心を持って働けるよう援助している	○	運営者は管理者や職員の話をよく聞き、助言をしている努力、実績、勤務状況を把握し、働き易い職場にしている
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまで本人が困っていること、不安なこと、求めていること、本人自身からよく聞く機会をつくっている	○	入居にあたっては、本人の心配事等よく聞き、納得できるよう援助している
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族についても信頼関係は充分できていると思う	○	オリエンテーションを充分行い家族も安心されているようである

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期対応の見極めと支援、本人、家族が悩んでいることをよく聞きとりしている	○	他のサービス利用までは至っていない
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	○	本人の意向にそえるようなサービスをしていきたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人と共に過ごし支えあう関係づくりをする。利用者に教えてもらうこともたくさんある	○	利用者をドライブに誘ったり、花見に行ったりして、喜怒哀楽を共に支えあう関係づくりをする
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と共に本人を支えあう関係づくりをしている	○	本人の近況を報告したり、本人と関わって頂けるケアプランを作成し協力を得ている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族のよりよい関係に向けた支援をしている	○	家族のもとに外泊したり、外出してコミュニケーションの構築につとめる
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人間関係や場所との関係が維持できるよう支援していく	○	ときどき馴染みの人に電話したり手紙を書くよう支援している
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人一人が孤立しないように利用者同士がかかわりあい、支えあえるようつとめている	○	仲間同士で散歩に行ったり、買物に行ったりして交流を深めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約が終了しても継続的なかわりを必要とする利用者や家族には関係を断ち切らない付き合いを大切にしている	○	退去後の付き合いも大切にするよう援助している
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人本位に検討している	○	本人の思いや意向を大切にしている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境に、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めるよう努力している	○	一人一人の生活歴はしっかりと把握している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を把握している	○	一人一人の一日の過ごし方、心身の状態を把握し、異状の早期発見に努めている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らせるよう、本人本位の介護計画をつくっている	○	担当利用者を決め、より細かな観察ができるよう、プランを作っている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に即した新たな介護計画の見直しを作成している	○	病状の変化、介護度の変化等、その都度介護計画の見直しを行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記入し、情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている	○	利用者ごとに担当者を決めより細かな情報を共有している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1Fの通所介護にときどき参加させてもらえるよう交渉している	○	利用者の要望に応じて柔軟に対応している
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアにお願いして歌、踊り、楽器演奏などで楽しんでいる	○	四季折々の行事、花見等で日々を楽しんでいる
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス(通所介護)を利用できるよう交渉中	○	PT(理学療法士)による機能訓練を今後も利用していきたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターにも今後協力を得たい	○	現在のところ包括支援センターとの協働は無いが近い将来は協働していけるようにしたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の受診支援を受けている	○	在宅訪問診療をうけている 医療連携体制をとっている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	在宅訪問診療をうけている 医療連携システムをとっている	○	PTを5月1日付けで採用しリハビリの専門にも力を入れた
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	3名の看護職員と6名の介護職員と連携をとりながら日常のケアを行っている	○	看護職と介護職が情報を共用し日常のケアに活用している
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院に向けた医療機関と協働している	○	常に主治医との連携に努めている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期のあり方については家族の同意を得ている	○	重度化やターミナル期について看取りの指針を作っている
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化や終末期に向けたチームでの支援、かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいる	○	かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいる
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族及び本人にかかわるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている	○	住み替え時は家族、本人に充分説明し、ダメージの無いように努力している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーの確保の徹底をしている。言葉かけや対応には充分気をつけている	○	今後も言葉かけや対応には充分気をつけて行きたい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が自己決定できるよう支援している	○	日常生活の中で自己決定できるよう促している
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合もあるが、出来る限り利用者の希望に沿って支援している	○	一人一人の希望を出来る限り尊重出来る様努力している
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身だしなみが出来るよう支援している。理美容については業者が出張サービスをしてくれる	○	その人らしい身だしなみが出来るよう支援している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備片づけをしている	○	一人一人の好みを活かす事はできないが、毎日のメニューを見て作っている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	かかりつけ医と相談し、健康に注意しながら一人一人に合わせた支援を行っている	○	酒、タバコについては原則として禁止としている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄チェックにより排泄のパターンを把握し、気持ちよく排泄できるよう支援する	○	オムツの使用を出来るだけ減らしていくよう心掛けている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	1日おきに入浴日を決めている。その日都合の悪い人は次の日に入浴できるよう、また、予定が明日の人でも、本人の希望があればその日に入浴できるよう支援している	○	入浴前にバイタルチェックをし、体調の変化を見て入浴援助をしている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣やその時々状況に応じて安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している	○	2～3名の方は午後1時間くらい昼寝をしている
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、生活歴や力を活かした役割、楽しみごと気晴らしの支援をしている	○	役割を持って頂く事でその人の自身につながり張り合いも出てくる
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持たせる事大切さが理解できていない。	○	本人自身で金銭管理が出来るよう支援していきたい
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、午前、午後散歩に出かけられている	○	散歩に行く事を楽しみに待っている。散歩に行く際は周りの人も誘い、複数で会話を楽しみながら行っている。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	墓参りや好きな美容室へ家族と出かけられる	○	普段いけないところへ家族と共にいけるよう支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状などを書いたりしている。電話や手紙を書くよう促すがなかなか連絡しようとしにくい	○	普段から電話や手紙を書けるよう支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	数人の人は家族や友人、知人たちが気軽に訪問され、居心地良く過ごされる	○	入居者全員の方が訪問支援が受けれるよう支援していきたい
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	私たちのグループホームでは、身体拘束排除宣言を掲げ、全職員で取り組んでいる	○	今後とも、身体拘束はしない事を全職員で守っていきます
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が居室や玄関に鍵を掛けないケアに取り組んでいます	○	今後とも。鍵の掛けないケアを全職員で守っていきます
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は本人のプライバシーに配慮しながら昼夜を通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	○	所在の確認をし、安全に配慮している
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人一人の状態に応じて危険を防ぐ取り組みをしている	○	今後とも、安全管理に注意していきます
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	救急法、火災訓練等で知識を学び事故防止に取り組んでいる	○	救急法、消防計画を作り、年2回の訓練を行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	防災訓練を年2回全職員が行っている	○	今後も年2回は訓練を続けて行きたい
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災、地震、水害等昼夜を問わず利用者が非難できる方法を身につけておきたい	○	地域の人々の協力が得られるよう働き掛けている
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	医療連携、在宅訪問診療をうけ、リスク対応策をとっている	○	一人一人に起こりえるリスクについて家族等にも説明している
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを必ず実施し体調の変化や、異変の発見に努めている。情報は共有し対応に結びつけている	○	バイタルチェックを確実に実施する。異変が生じたら医師に連絡する。場合によっては119番通報をする
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○	薬の目的、副作用、用法、用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	散歩や飲食物の工夫で、便秘になりにくいようにしている	○	排便コントロールをし、便秘が続くときは医師の指示により下剤の投与をしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨きをするようにしている	○	歯のない人、歯磨きが出来ない人にはうがいなどをしていただいたり介助にて支援している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がカロリー計算をし、栄養バランスを確保している。水分量も一日1200ml～1500mlと十分確保している	○	健康状態を把握した上で食事管理をしている
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	取り決めがあり実行している	○	今後も取り組んで行きたい
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理用具管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	○	調理用具の消毒、食材の管理、手洗いの励行を行っている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	安心して出入りできるよう玄関周りの工夫、出入りしやすいよう整理整頓をしている	○	家族、面会者をいつでも笑顔で迎えらるよう一人一人が気をつけている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	生活観や季節感を取り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている (例)廊下等に入居者の作品を飾ったり、入り口のドアを飾っている	○	いつも家族や面会者が喜んで遊びに来られるような共用空間づくりをしている
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間の中には一人になれたり気のあった利用者同士で思い思いに過ごせるよう居場所の工夫をしている	○	居場所の工夫が出来るよう職員が援助していく

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンス、仏壇等なじみの物を持ってこられる方もいて、利用して頂いている	○	入居時、本人の使い慣れたものを持ってきてもらっている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	気になったにおいや、空気のだよみがなくよう換気に努めている。温度調節は外気温と大きな差がないよう配慮している	○	朝、掃除のときはこまめに窓を開けて換気をしている
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の身体機能を活かした、安全で自立した生活が生まれるよう工夫して入る	○	安全に生活が出来るよう配慮している。居室、廊下、室内の整理整頓をつとめている
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人分かる力を活かして混乱や失敗を防ぎ自立して暮らせるよう工夫している	○	自立心を向上させる。 室内表示などを工夫しながら何回も訓練して理解できるよう声かけ等しながら促している。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りに畑を作って野菜をつくっている。玄関前には、プランターで草花を植えている	○	野菜、草花に水をあげ、成長を楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

H20年5月より理学療法士の方に来てもらい個人に合わせたリハビリをしてもらっている。
花見や施設見学等に行けるようにする等、季節ごとの催し物を月1回企画している。